



新庁舎完成に伴う 市民サービス体制

4月23日に、議員各位をはじめ、約500人の方々にご臨席いただき、盛大に新庁舎の落成式典を挙行するとともに、連休明けの5月8日から全館での業務を開始しました。

工事期間中は、仮庁舎での窓口業務の分散などにより、市民の皆さまには大変ご不便をおかけしましたが、新庁舎完成を機に、改めて市民サービス体制の見直しを行いました。

ハード面としては、1階、2階の開放的なフロアに、市民サービス部門を集約して、ワンフロアサービスを採用するとともに、関連する窓口を隣接して配置するなど、移動による負担に配慮した、市民の皆さまが利用しやすい窓口の整備を図りました。

あわせて、申請件数の多い証明発行業務を集約し、市民生活課に証明発行専用窓口を設け、税務証明の一部も発行できるよう体制整備を行いました。

また、手続きに要する時間が短い窓口にはハイカウンターを、比較的時間

6月定例市議会 市長所信

6月議会が6月8日から27日までの20日間の日程で開催されました。開会日には、議案審議に先立ち、当面する市政の重要課題につきまして、市長より所信が表明されました。

今議会で表明された主な内容につきましては、次のとおりです。

を要する窓口には、いすに座って手続をしていただけるローカウンターを配置し、プライバシーに配慮した仕切りのあるカウンターを設けるなど、各業務の実情に応じたカウンターをバランスよく配置しています。

一方、ソフト面としては、職員の接遇能力の向上を図ることに加え、専任のフロアマネージャーを配置しました。窓口までのご案内や、申請書等の記入補助を行うことにより、来庁された方が、迷わずスムーズに目的の窓口に行き、用事を済ませ、気持ちよく帰っていただけるよう「おもてなし」の心を持った市民サービスを、職員一丸となって取り組んでいます。

今後も、市民の皆さまの目線に立つて、適宜、窓口サービスの検証、見直しを行うことにより、名実ともに「市民の役に立つところ、市役所」の構築に向け、改善を重ねていきます。

阿南医療センター設立に向けての進捗状況

阿南医療センターを運営する徳島県厚生農業協同組合連合会（JA徳島厚

生連）は、阿南医療センター新築工事を発注のために、入札などの諸手続きを進め、3月28日、指名競争入札で請負業者が決定し、5月1日に起工式が執り行われました。新病棟の完成は、平成30年12月末までの工期とし、既存棟の改修工事や医療機器などの移動等で、全体の工期は平成31年3月末となっています。

医療センター新築工事の概要ですが、現阿南中央病院の東側に建設される新病棟は、免震構造の鉄骨造り6階建て、延べ床面積約1万6600平方メートル。また、現阿南中央病院は外来診療室や病棟等の一部について改修工事を行い、新病棟と連結されます。

また、本市は、多額の補助金を交付することなどから、医療センターにおいて、24時間365日の二次救急医療体制の堅持と産科・小児科医療体制の充実・強化を図ることおよび開院後の新たな協議機関の設置などを明記した「協定書」もJA徳島厚生連と締結しました。

今後とも、医療センター設立に向けて支援・協力を行うとともに、地域住

今後も国土交通省をはじめ、関係機関と密接な連携を図りながら、積極的に推進していきます。

「阿南市中央学校給食センター」の建設

本市には、1市2町の合併により、現在、8カ所の学校給食施設がありますが、その中でも見能林学校給食センター、羽ノ浦学校給食センター、羽ノ浦中学校給食室および富岡小学校給食室の4施設については老朽化が著しく、また、那賀川学校給食センターは、建築時期は比較的新しいものの、設備機器の故障が多発するなどしています。こうしたことから、老朽施設解消と合併効果を上げるため、中央学校給食センターを建設し、市内の学校給食施設を、第一学校給食センター、南部学校給食センターおよび中央学校給食センターの3センターに統廃合します。

中央学校給食センターの建設により、耐震化・老朽化対策を促進し、耐震化率の向上、衛生基準に対応した食の安全化、調理業務内容による適正な人員の配置と効率化が見込まれています。

また、災害時等には、炊飯施設を稼働できる自家発電設備を備えていることから、炊き出し等にも迅速な対応が可能なものと考えています。

建設概要は、阿南中学校西側の土地に、鉄骨造り一部2階建ての施設を建設し、床面積は2865平方メートル、

紙面の都合上、抜粋して要旨部分のみ掲載しています。全文をご覧になりたい方は、市ホームページをご覧ください。また、後日作成されます市議会会議録は市立図書館等で閲覧することができます。

民の命と健康を守り、信頼され魅力ある新病院となるよう、さまざまな角度からの提言も行っていきたいと考えています。

阿南健康づくりセンターの建設

健康づくりセンターは、医療センターの整備に伴い、本市が医療センター正面の市道を挟んで南側の用地に建設し、阿南市医師会会員の災害時活動拠点や、一次救急医療を担う「夜間・休日診療所」および保健センター機能を集約した施設となります。

健康づくりセンターの施設概要は、鉄骨造り2階建て、延べ床面積約1260平方メートル、1階には保健センター1事務室、診療所および会議室などを、2階には、赤ちゃんから成人までの健診を行うスペースや個別面接室などを配置します。

市民一人ひとりの健康づくりを総合的に推進するための複合施設として、また、夜間・休日診療所を設置することにより、二次救急医療を担う医療センターの医師等の負担軽減を図るために建設するものです。

羽ノ浦図書館が文部科学大臣表彰を受賞

羽ノ浦図書館が、「平成29年度子供読書活動優秀実践図書館」に選ばれ、文部科学大臣表彰を受賞しました。

このことは、羽ノ浦図書館が開館以来21年間にわたり、毎週実施してきた「おはなし会」などで地域の子どもと本との出会いの場づくりに取り組んできたことが高く評価されたものです。本市では、平成28年3月に「阿南市子ども読書活動推進計画」第二次推進計画を策定し、すべての子どもが豊かな心を育み、生涯にわたり自ら学ぶことのできる力を養うため、市民総ぐるみで、子どもが自主的に読書活動に取り組むことのできる環境整備を図っていて、今回の受賞は、その推進の大きな弾みとなります。

また、この文部科学大臣表彰は、平成18年度は那賀川図書館、平成21年度には阿南図書館が受賞していて、今回の羽ノ浦図書館の受賞により、阿南市のすべての図書館が受賞しました。

今後は、この結果を糧としながら、3図書館がそれぞれの良さを発揮し連携を密にすることで、子どもから高齢者まですべての市民へのサービスの充実に努め、本市のめざす「ひと、まち、心をつなぐ笑顔の光流都市」の実現に貢献できる図書館として機能させていただきます。

国直轄の河川および道路事業

本市に係る本年度の河川事業予算としては、加茂地区床上浸水対策特別緊急事業費に約13億円、長安口ダムの改造事業費に約66億円、桑野川河口部の地震・津波対策など河川改修事業費として約4億円となっています。

また、道路事業予算としては、四国横断自動車道「阿南・徳島東間」に昨年度の約1.7倍となる約91億円、阿南安芸自動車道「桑野道路」および「福井道路」については、それぞれ約4億円、また一般国道55号「阿南道路」の4車線化に約13億円の配分をいただいています。

なお、本年度は、四国全体の国土交通省直轄事業予算の約15パーセントが本市の直轄事業に投入されています。このことは、官民協働の地域振興組織である「那賀川渇水対策協議会」や「阿南市高規格道路等建設促進期成同盟会」が、長年にわたり国等への強い要望活動を重ねた大きな成果です。

国が行う河川事業では、南海トラフの巨大地震や津波、あるいは台風や豪雨の自然災害に備え、人命・財産の安全性を高めるとともに、道路事業では、高速道路ネットワークなどの整備により、「ひと・もの」の交流が促進される「活力の道」となり、災害時の緊急輸送道路や救急医療などの「命の道」となるべく努めています。